

## 令和4年度 国語科 「現代の国語」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 1年A～G組
教科書	現代の国語（筑摩書房）	副教材等	「新訂総合国語便覧」（第一学習社） 「音と形で覚える漢字の演習改訂版」（明治書院）

## 1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## 2 学習の計画

学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
前期	4	・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している。	質問する力を身に付ける。	「質問する力」を育てよう	・〈言語活動〉 「スピーチQ&A」で質問の練習をする。	行動の確認
	5	・全体構成を把握する。 ・様々な「境目」について考える。 ・参考「一般化のワナ」を読み、「境目」との共通点を考察する。	実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を整理して伝える。	「境目」 川上弘美	・具体例や比喻から抽象的な考えを読み取る。 ・言語活動とはどのようなことであるのかを理解する。	行動の観察
	6	・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解している。	言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。	「ことばとは何か」 内田樹	・〈言語活動〉 日本語にあり他言語には無い名詞を調べ、発表する。	記述の確認
				第1回考査		ワークシート分析
	7	・目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈している。	内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に要旨を的確に捉える。	「システムと変異」 中屋敷均	・後掲の「評論文読解のポイント」を参考に本文の構造を理解する。	行動の確認
	8	・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考える。	「贈り物と商品の違い」 松村圭一郎	・文章中のキーワードやキーセンテンスに留意し、筆者の主張を把握する。	記述の確認
	9			宣伝のことば——ポップ・広告	・問題提起に注目してその答えを本文から読み取り、主題と論旨を把握する。 ・鉤括弧の効果的な使い方理解する。	行動の観察
				第2回考査	・〈言語活動〉 自分の読んだ本の広告を作る。	ワークシート分析
		・内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。	内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に要旨を的確に捉える。	「未来は存在しない」 野矢茂樹	・論理学の用語を理解する。 ・「未来は存在しない」という主張と「宿命論」の関係を理解する。	行動の確認
					・〈言語活動〉 日常での「当たり前」を取り上げて、改めてその本質を考え、話し合う。	行動の観察

学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
後期	10	・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。	自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考える。	「来るべき民主主義」 國分功一郎	・政治に関して関心を持ち、身近なものとして考える。 ・内容や構成、論理の展開について叙述を基に的確に捉え、要旨をまとめる。	行動の観察 記述の確認
	11	・文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。	主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。	「マルジャーナの知恵」 岩井克人	・文章全体の論理構成を把握する。 ・「情報の商品化」がどのような意味を持つかを理解する。	行動の観察
	12			第3回考查		
	1	・実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集して、伝え合う内容を検討している。	論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫する。	「ポスト真実時代のジャーナリズム」 国谷裕子	・「ポスト真実時代」がどのような時代であるかを理解する。 ・〈言語活動〉「ポスト真実」と呼べるような社会的な事例を調べ、発表する。	行動の確認 行動の観察
	2	・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考える。	「贅沢の条件」 山田登世子	・本文中に多く現われる二項対立の構造を整理する。	記述の確認
	3		文章の構成や論理の展開について叙述を基に的確に捉え、自分の考えを深める。	「リスクと近代社会」 大澤真幸	・近代が生み出したリスク社会について理解する。 ・リスク社会に生きる私達に求められることは何か、考察を深める。	行動の観察 ワークシート分析
				第4回考查		

### 3 評価の観点

知識・技能	ア 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。イ 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。オ 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。カ 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うことができる。
思考・判断・表現	【話す・聞く能力】ア 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。イ 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。ウ 話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。エ 論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。オ 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 【書く能力】ア 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。エ 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりできる。 【読む能力】ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。
主体的に学習に取り組む態度	(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けようとしている。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

### 4 評価の方法

評価規準に従い、小テストや定期考查の結果、提出物の内容、授業中の姿勢などを鑑み、総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

中学時代よりも抽象的な内容の文章が増えて戸惑うかも知れませんが、読み慣れていくと瞬く間に視野が広がっていき、世の中の構造や人間という存在も論理的に考えられるようになります。まずは語彙を増やし、文章の構造を読み解く力を身に付けていきましょう。常用漢字の習得は1学年のうちに完成させてください。